

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例」の出題の趣旨

第1問（配点 15 点）

本問は、問題文の情報から、食品関連の機械製造業の業界情報、C 社の経営資源に関する情報等を適切に読み取り、食品関連の機械製造業の業界と C 社の状況を適切に比較・分析し、戦略的に重要な要素を抽出できるかなど、情報把握能力や情報分析力を問うものである。

第2問（配点 20 点）

本問は、問題文から C 社の業務の流れを的確に把握し、C 社の業務プロセスのうち、営業プロセス上の問題点を適切にとらえ、実行可能性のある改善案を提案できるか、問題解決能力を問うものである。

第3問（配点 15 点）

本問は、C 社の内外作の判断基準および製造部の現状を問題文中から適切に読み取ったうえで、外注を活用することのメリット・デメリットなどの基本的知識を応用し、内製化すべき部品・加工工程について、戦略的思考能力を問うものである。

第4問（配点 30 点）

本問は、C 社の外注管理の状況を問題文中から正確に読み取り、外部への発注および外注管理プロセス上の問題点を多面的にとらえ、外注管理、外部への発注方法などについての実効性ある改善案を提案できるかなど、問題点指摘の適切性および問題解決能力を問うものである。

第5問（配点 20 点）

本問は、C 社の課題となっている、パソコンによる特注部品の資材調達手配事務の軽減について、C 社の規模や実情に応じた具体性と改善効果を有する提案ができるかなど、情報技術の活用による改善提案能力を問うものである。

以上